

大手企業との直接取引を主軸に 高難度な油圧製品部品を製造

建設機械・農業関連機械などの特殊車両用油圧ポンプや油圧モーターの主要部品であるSWP（スワッシュプレート）、周辺機器、産業機械向け油圧製品の部品を製造する能美工業。

機械金属加工、切削加工において難易度の高い製品を製造する技術力を誇り、ダイハツディーゼルやダイキン工業といった大手企業との直接取引が事業の主軸だ。1品種月間1,000個以上、年間1万台規模の多品種中量生産を実現し、安定した品質の製品を提供し続けている。

住所 | 〒570-0032 大阪府守口市菊水通3-11-17
TEL | 06-6996-9251 FAX | 06-6996-5351
創業 | 昭和26年3月 設立 | 昭和41年3月
資本金 | 2,000万円 従業員 | 18名
HP | <https://www.m-osaka.com/jp/takumi/7048/>

■主な事業内容
機械金属加工業

■主な取引先（納入先）
油圧機器部品、船舶用エンジン、電力機器部品メーカーなど



極み

高精度な
加工技術を生かす、
一貫生産体制を確立

FC（片状黒鉛鋳鉄）、FCD（球状黒鉛鋳鉄）などを鋳造業者や鋼材商社から直接調達。製造に必要な1,000分の1mm単位の高精度加工技術を、大半の社員が習得している。材料調達から製品化まで、スキルマップによる一貫生産体制を確立しているのも強みだ。

取り組み

製造業の
CO₂削減推進や
地場産業発展にも尽力

社内では、製造業のCO₂削減を推進するためDXを活用。不良率低減と効率的な生産体制の構築による、環境負荷の少ないものづくりに挑戦している。地域では、所属する守口門真商工会議所会員企業との連携を強化し、地場産業の発展にも力を注ぐ。

今後の展開

DX化による
生産性向上と独自の
人材育成に注力

令和4年から本格化させた社内DX化を軸に、99%以上の精度を目標に生産性向上に挑戦。三次元測定や品質管理の資格取得支援を強化し、特に女性技術者の育成に力を注ぐ。最新技術と人材育成の両輪で、次世代の製造業を牽引する企業を目指している。

能美工業株式会社

WEBサイト



代表取締役
能美 孝司さん

フィフティフィティの関係性で 長期的な信頼を築いていく

「商売はフィフティフィティ」。これは当社の事業を先代から引き継ぐ前、16年間の商社勤務経験から学んだ「相手あつての仕事」という考え方です。自社の利益だけを追求するのではなく、取引先にもメリットがある関係づくりを心がけ、担当バイヤーさんにも良い結果が出るよう常に考えています。

そうした姿勢を一貫続けた結果として、長期的な信頼関係につながっていくのではないかと思います。これからも、精密機械金属加工の分野において、お客様とともに成長する企業であり続けられるよう、さらに精進してまいります。



3次元測定器



NC旋盤での加工の様子



円筒研磨機での加工

ポイント 福利厚生・働く魅力 職場環境

デジタル導入と
教育訓練制度で
頑張る社員を応援



これまで、タイムカードの電子化や日報のタブレット入力システム導入など、社内クラウド環境の整備で業務効率の大幅な改善を実現してきた。情報技術士の資格を持つデジタル担当社員を配置し、社員のデジタル講習参加も推進。国のIT化を後押しする助成金を活用しながら、技術向上と新たなデジタルスキル習得の両立を図る。

また、社員の技術力向上を支える各種技能国家資格取得支援制度を整備。採用時から明確な基準を設け、資格取得を見据えた人材育成を行っている。国家試験合格のためのノウハウを蓄積し、今後は女性社員に向けた測定技術や図面制作などの教育訓練制度の環境も整備していく予定だ。